

県有施設 LEDを本格導入

電気代削減分をリース料に

神奈川県



県立歴史博物館でLED照明への取り換え作業を視察する党神奈川県議団

交換した場合の電気代削減額を計算し、削減額がリース料を上回る見込みの箇所だ。

具体的には、県立学校をはじめ、警察署、税事務所、保健福祉事務所、土木事務所、図書館など計約170施設の照明約7万本。県では年間8000万円程度の電気料金が削減できる見通しで、削減相当分でリース料を賄うため、新たな予算措置は伴わない。

党神奈川県議団の佐々木正行議員は昨年6月の本会議で、「県庁舎では計約1万8000本の蛍光灯が使用されており、こうした従

来型の照明をLED化することで相当な電力を削減できる」と指摘し、リース方式によるLED導入を提案した。

さらに、赤井和憲議員が今年6月の本会議で、「電気料金の節減分を活用したリース方式で、可能な限り県有施設のLED化を推進すべきだ」と訴え、黒岩祐治知事もLED化を進める方針を明らかにした。

神奈川県は今年度、電気料金の削減額を活用し、県有施設でリース方式によるLED照明の導入を本格的に進

めている。

LED化されているのは、1日当たりの点灯時間や年間点灯日数などからLED照明に